

## 平成27年度 事業報告書概要

### 1. はじめに

平成27年度の我が国経済は、一部に弱さがみられるものの、全体としては緩やかな回復基調が続いたが、年度後半において海外経済の下振れの影響から、為替の変動、株価の乱高下等により、不透明感が払拭できない状況が続いた。

一方、世界経済は中国を始めとするアジア新興国等の景気の下振れが懸念され、米国経済の金融政策正常化の影響、原油価格等の下落の影響、地政学的リスク等に留意する必要があるとした。我が国経済の先行きについては、雇用・所得環境の改善、各種政策の効果により、緩やかな回復に向かうことが期待された。

こうした中で平成27年度の当工業会の事業としては、1) 国際展示会の開催に関する事業 (JIAM2016 OSAKA の取り組み)、2) 家庭用ミシンを使ったモノづくりの普及促進 (家庭用ミシン事業)、3) 工業会活動の活性化及び効率化の推進、4) 知的財産権保護対策の推進 (使用技術の普及及び啓発に関する事業) 等を行うとともに、業界の発展に係わる諸課題の克服に向け会員への支援に取り組んだ。

### 2. 活動概要

#### 1) 国際展示会の開催に関する事業

国際アパレル機器&繊維産業見本市 (JIAM2016 OSAKA) の企画運営業務を推進させるため、以下の事業を実施した。

##### (1) 開催概要について

###### ①テーマ：－革新的ソリューションと高度加工技術－

Innovative Solutions & Advanced Processing Technology

②会 期：2016年4月6日 (水) ～9日 (土) <4日間> 10:00～17:00 (最終日は16:00まで)

③会 場：インテックス大阪 2・3・4・5号館

④主 催：一般社団法人日本縫製機械工業会 (JASMA)

##### (2) 事業推進結果について

出展規模：240社・1,277.8小間 (目標：1,300小間)

##### (3) 委員会活動について

JIAM2016実行委員会は2回、JIAM2016実行委員会WG (ワーキンググループ) は12回開催した。

##### (3) プロモーション活動について

###### ①JIAM2016ビジネスフォーラム (出展概要説明会) の開催

日 時：2015年5月27日 (水) 14:00～16:00

場 所：フクラシア東京ステーション

###### ②記者発表会の開催

a) ドイツ (Texprocess 2015会期中、2015年5月5日 (火)、10:30～12:00、フランクフルト国際見本市会場)

b) 国内・大阪 (2015年9月11日 (金)、16:15～17:00、ホテルグランヴィア大阪)

c) 中国 (CISMA2015会期中、2015年9月24日 (木)、13:00～15:00、上海新国際博覧中心)

###### ③出展者説明会の開催

日 時：2015年12月9日 (水) 13:30～15:30

場 所：インテックス大阪

###### ④関連展示会への出展 (JIAM2016のPR活動)

a) Texprocess 2015

会 期：2015年5月4日（月）～7日（木）  
会 場：ドイツ・フランクフルト国際見本市会場

b)CISMA2015

会 期：2015年9月23日（水）～26日（土）  
会 場：上海新国際博覧中心

c)53<sup>rd</sup> FISMA TOKYO（東京ファッション産業機器展）

会 期：2015年10月15日（木）～16日（金）  
会 場：東京ビッグサイト

d)Origin Africa 2015

会 期：2015年10月21日（水）～23日（金）  
場 所：エチオピア・アディスアベバ

⑤関連団体等への協力要請

日本モデリスト協会、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会、一般社団法人日中経済貿易センター、大阪モード学園等、全17団体

⑥ウェブサイトを活用した国内外への情報発信

- a)プレスリリースの発信（2015.7月から2016.3月までの6回）
- b)JIAM2016ホームページの最新情報「お知らせ」を定期的更新
- c)出展者専用ページ開設（出展者情報の入力、出展者バッジ等の申込等）
- d)来場招待状（日英中版）を掲載

⑦宣材物等の作成

JIAM2016 OSAKAのPR画像、出展細則、フロアレイアウト、来場案内パンフレット

(5) 併催展に関する打ち合わせ及び開催準備

①国際副資材総合展

会 期：2016年4月6日（水）～9日（土）＜4日間＞ 10:00～17:00（最終日は16:00まで）  
会 場：インテックス大阪 2号館

②ファッションビジネス・ソリューション・フェア（FBS）（ゾーン出展）

(6) 主催者企画（従来名称：特別出展事業・平成27年度公益目的支出計画の継続事業）の準備

- ①セミナー
- ②テーマゾーン
- ③ホームソーイングゾーンと特設ステージ
- ③ニュー・ビジネスマッチング・ゾーン

(7) フロアプラン

2) 家庭用ミシン事業

ユーザーニーズが「画一性から個性化へ」と移行しつつある環境に応え、ホームソーイングへの親しみの場を設け、家庭用ミシン市場の活性化に努めるとともに、健全な市場の拡大を図るため以下の事業を実施した。

(1) ソーイングの普及促進について

①第36回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール

次世代を担う若い世代に、家庭用ミシンを使って、創造性豊かな作品を作る機会を提供し、「手作りの喜び」「ソーイングの楽しさ」を体験する中で、ホームソーイングの利用拡大に努めることを目的とし、第36回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール事業を実施した。更に、平成27年度公益目的支出計画の継続事業（家庭用ミシン事業）として、引き続き内容の検討を行った。

応募部門は昨年と同様に「小物・インテリア作品」、「衣服作品」、「リメイク・デコ作品」、「アニメ・ゲームキャラクターコスチューム作品」とし、応募作品の募集活動を行った。

a) 作品の応募状況

○応募作品点数 合計 4,283点 (前回比 101.2%)

○応募校数 合計 592校 (前回比 112.5%)

b) 審査経過

○第一次審査 平成27年12月8日(火)～9日(水) 東京都内

○第二次審査 平成27年12月19日(土) 東京都内

○審査結果

作品賞、学校賞、入選作品一覧は、JASMAホームページ「ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」に掲載。

c) 表彰式等

結果発表は平成28年2月25日(木)に報道関係へニュースリリースを発表し、入選作品表彰式及び受賞者交流会は、平成28年3月5日(土)の午後、日本工業倶楽部(東京)で行った。

② 「ミシンの日」の事業

平成27年度以降のミシンの日のPRに関する事業等について、関係者と意見交換を行った。

③ 2015日本ホビーショーへの出展

会期：平成27年4月23日(木)～25日(土) 10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト

内容：第35回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール優秀作品の展示及び会員メーカー6社によるソーイング体験コーナー実施等

(2) 市場の活性化について

①流通の適性化を図るため、毎年4月1日現在及び10月1日現在の現行販売機種、新機種、廃機種を一覧表にまとめ流通団体等に通知した。

②市場ニーズに的確に対処するため、2015年1月～3月分及び4月～6月分、7月～9月分、10月～12月分の国内販売機種について価格帯別の流通調査を実施した。

③家庭用ミシン流通市場等に関する「縫製機械技能検定試験」の課題等について、全国ミシン商工業協同組合連合会と調整した。

④消費者及び地方公共団体、消費生活センター等からの問い合わせ、ミシンに関する各種の相談、照会に対処した。

3) 工業会活動の活性化及び効率化の推進

工業会と会員の発展のためその活動を広く周知させるとともに、工業会活動のさらなる活性化を図り且つその効率化を推進するため、以下の事業を実施した。また、理事会の活性化等基本的な内容を検討した。

(1) 広報活動について

①政府が公表する各種統計を整備しJASMA統計(ミシンの生産・輸出入)として平成27年分を毎月発行するとともに、工業会の事業活動をはじめ関係諸機関の動向を取りまとめたニュースレターを毎月発行した。

②外部に対して工業会の活動等を広報するため、JASMA会報を年4回発行するとともに、インターネットホームページの更新・充実に努め、工業会の事業活動等について広く広報を行った。

③関係諸機関並びに公共団体等が公表する調査結果等を収集し、各種の資料等について会員に情報として提供した。

(2) 内外関係機関等との交流及び協力に関する事業

①関係機関・団体との連絡協調について

a) ロボット革命イニシアティブ協議会への会員参加

b) 平成27年度新興国市場開拓等事業費補助金（ミッション・見本市等出展支援事業（エチオピア・タンザニア等：縫製機械産業等における国際展開支援））として、我が国の縫製機械及びJIAM2016のPRを目的に以下の事業を実施した。

○アフリカー日本・ビジネス投資フォーラム2015とエチオピア製造業視察ツアーへの参加

日時：2015年8月31日（月）から9月3日（木）

場所：エチオピア・アディスアベバ Sheraton Addis

○Origin Africa 2015への出展

日時：2015年10月21日（水）から23日（金）

場所：エチオピア・アディスアベバ MILLENIUM HALL

○事業報告書の作成、配付

報告書として取りまとめ、当工業会会員企業へ配付した。更に、日本貿易振興機構（ジェトロ）のウェブサイト「見本市レポート」、情報誌「ジェトロセンサー」等へ情報を提供した。

c) 経済産業省並びに関係官公庁からの調査の実施、繊維関係団体との情報共有、資料の交換等を実施した。更に、当工業会が会員として加入している関係団体との協力関係の継続を図った。

②軽機械センターの運営に関する協力について

海外との交流、市場動向フォロー等の事業を進めるため、その一環として軽機械センター（ベルギー・ブリュッセルセンター及び中国・北京センター）の運営に協力するとともに、技術動向等に関する情報を収集し、会員へ提供した。

③海外関係機関との交流及び協力について

○国際連絡会議

a) Texprocess 2015会期中（Three Regions Liaison Conference）

日時：2015年5月6日（水）8：00～10：00

場所：ドイツ・Messe Frankfurt Exhibition GmbH Conference Room ALLIANCE

概要：日独米の各団体から市場の状況と主催する見本市について意見交換が行われた。

b) CISMA 2015会期中（Multi-Party Liaison Conference）

日時：2015年9月24日（木）7：30～9：10

場所：中国・上海 Pudon Kerry Center

概要：日中独米の各団体から市場の状況と主催する見本市について意見交換が行われた。

（3）工業会活動の効率化の推進（工業会の収支バランスの回復に向けた対応）

①工業会活動の改革・見直しについて

②会員の負担軽減の検討について

（4）工業会活動の確実な実施

①公益法人制度改革への対応等について

平成26年度公益目的支出計画実施報告書を提出し、平成27年度公益目的支出計画の継続3事業（家庭用ミシン事業、統計・調査事業、特別出展事業）の内容を検討した。

②「縫製機械整備作業」技能検定試験制度の取り組みについて

「縫製機械整備作業」技能検定試験制度の受検者数の減少に伴い、当工業会として今後の取り組み方について検討するため、総務企画委員会の下に「縫製機械整備作業」技能検定に関する検討WG（ワーキンググループ）を設置して報告書の取りまとめを行った。

③生産性向上設備投資促進税制について

平成27年度は縫製機械等を対象とした証明書を358件発行した。

④地域工場・中小企業等の省エネルギー設備導入補助金について

省エネルギー投資を緊急的に重点支援する補助金等の証明書発行団体として、平成27年度は証明書を3件発行した。

(5) 正会員、賛助会員の充実

JIAM2016 OSAKAの出展勧誘や生産性向上設備促進税制の申請受付等において、工業会活動内容やメリットを広報し会員獲得に向けた取り組みを行った。

4) 使用技術の普及及び啓発に関する事業

(1) 知的財産権保護対策について

①政府関係機関の日本貿易振興機構（北京センター、上海センター、ソウルセンター）等の情報を入手し、随時、会員企業へ提供した。

②全世界を対象にした海外製品による模倣品の定期的模倣実態調査を行った。（CISMA2015以外）

・模倣企業数 74社

・権利別侵害数（延べ数）

a) 意匠権 13件

b) 特許権 5件

c) 商標権 73件

d) 著作権 0件

・発見国別件数

a) 中国 82件、 b) バングラデシュ 2件、 c) タイ 1件、 d) ベトナム 1件、

e) メキシコ 1件、 f) 台湾 1件、 g) シンガポール 1件、 h) イギリス 1件、

i) ドイツ 1件

③CISMA2015会期中に会場内で模倣実態調査を行った。

・模倣企業数 241社

・権利別侵害数（延べ数）

a) 意匠権 58件

b) 特許権 235件

c) 商標権 62件

d) 著作権 12件

④中国における知的財産権侵害行為に対して、日本貿易振興機構（北京センター、上海センター）と連携を図った。

⑤「国際知的財産保護フォーラム・第3プロジェクト」の会合へ参加し、関係団体等と情報を交換した。

(2) 電気用品安全法の技術基準体系の見直しに対応するため、他団体の分科会に参加し情報を収集した。

(3) 内外の環境規制に関する情報を収集した。

5) 生産、流通等に係る調査及び企画の立案・推進に関する事業

(1) 調査事業について

①海外調査

日本貿易振興機構及び軽機械センター（ブリュッセル、北京）等との連携を図り、主要国の需要動向、経済動向等について情報の収集に努め、会員へ提供した。

②国内調査

官庁、関係団体等が公表する資料、統計等を収集整理分析し、会員へ提供した。また、関係当局からの諮問あるいは関連団体、他業界からの照会等に対処した。

(2) 統計事業について

①平成27年度公益目的支出計画の継続事業（統計・調査事業）として、ミシンに関する経済産業省の

生産動態統計及び財務省貿易統計を毎月入手し、整理・分析を行い、定期的に会員へ提供するとともに、一般に対してホームページで公表した。

②家庭用ミシン、工業用ミシン及び部品について、生産、輸出入に関する工業会統計を作成した（四半期・半期）。更に生産基地の海外移転が進展している実態を踏まえて、家庭用ミシン及び工業用ミシンについて海外生産統計を整備し会員に提供した。

(3) 需要見通しの策定について

内外の経済動向、市場環境、在庫等を勘案し、平成28年（1月～12月）の需要見通しを策定した。

(4) 工業用ミシン・部品・関連機器事業について

情報社会、環境社会及びグローバル化の進展に対する的確に対応し、市場の活性化に努めるとともに、業界の健全な発展を図るため、以下の事業を実施した。

①国内及び海外市場について、日本機械工業連合会から週報等を定期的に収集するとともに、日本貿易振興機構及び軽機械センター（北京、ブリュッセル）から海外情報を収集し、定期的に会員へ提供した。

②グローバル化に対応し国際化に向けて対応するため、日本機械工業連合会の機械安全標準化に関する国際規格等（ISO/IEC）、日本機械輸出組合のWTO等の貿易協定に関する情報、国際連絡会議等で欧米及びアジア地域の情報等を収集し会員へ提供した。

③部品部会の活性化を図るため、有識者による講演会を実施した。

日 時：2015年10月9日（金） 16:00～17:00

場 所：ホテルグランヴィア大阪

講 師：政策研究大学院大学 名誉教授 橋本 久義 氏

テーマ：〔2016年は丙申（ひのえさる）波乱の年、臥龍経済日本の中小企業の未来〕（中小企業は、日本のまごころ、世界の宝）

6) 標準化の推進に関する事業

(1) 国内規格（JIS規格等）について

①「JIS B 9960-31（機械類の安全性－機械の電気装置－第31部：縫製機械、縫製ユニット及び縫製システムの安全性とEMCに対する要求事項）」の対応国際規格「IEC60204-31」が改正されたため、「JIS B 9960-31」改正原案を作成した。また、電気用品安全法の技術基準体系等の見直しに関して、「JIS C 9335-2-28（家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第2-28部：ミシンの個別要求事項）」について、改正原案を検討した。

②関連団体との交流を図り、規格に関する情報の収集を行い、随時、会員企業へ提供した。

(2) 国際規格（ISO/IEC規格等）について

①国際規格活動（ISO/TC148・ミシン）を積極的に行うとともに、工業用ミシンの国際規格（ISO 10821）の情報収集を行った。

②国際標準化協議会及び一般社団法人日本機械工業連合会との交流を図り、機械安全（IEC/TC44）に当業界の専門家が参加し国際規格等の情報収集を行った。

7) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(1) 労働力の確保に関する事業について

業界全般の労務状況について意見交換を行った。

(2) PL対策について

損害保険会社と団体PL保険契約を締結し対応した。